

平成30年度進行管理・評価シート  
 小田原市歴史的風致維持向上計画(平成23年6月8日認定)  
 (最終変更平成31年3月29日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施に向けた推進体制の強化	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 清閑亭保存整備活用事業	3
2 松永記念館整備活用事業	4
3 皆春荘整備保全活用事業	5
4 歴史的風致形成建造物等整備事業	6
5 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業	7
6 八幡山古郭・総構整備事業	8
7 案内板等整備事業	9
8 小田原文学館整備活用事業	10
9 旧松本剛吉別邸(岡田家住宅)整備保全活用事業	11
10 国道255号電線地中化事業	12
11 銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	13
12 景観計画重点区域における景観形成修景費補助事業	14
13 かまぼこ通り地区における街なみ環境の向上	15
14 祭礼等保存継承事業	16
15 歴史的風致形成建造物等活用事業	17
16 地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ	18
17 街かど博物館活用事業	19
18 なりわい交流館活用事業	20
19 伝統的工艺品産業産地組合助成事業	21
20 小田原散策マップ等作成事業	22
21 レンタサイクル事業	23
22 民俗芸能保存支援事業	24
23 無形民俗文化財記録作成事業	25
24 文化財の総合的把握・育成支援事業	26
25 伝統行事・伝統文化啓発事業	27
26 職人育成研修等推進事業	28
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の指定	29
2 文化財の修理(整備を含む)及び防災	30
3 文化財の保存・活用の普及及び啓発	31
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 小田原「歴まちカード」配布 ほか	32
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 小田原城天守閣の魅力向上	33
2 観光まちあるき事業(まち歩きアプリの開発等)	34
3 木づかいのまちの取組(小田原産木材の活用など)	35
4 明治150年に係る取組	36
5 歴史的風致に関する意識啓発	37
6 歴史まちづくりの効果	38
	39

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
計画実施に向けた推進体制の強化		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	計画変更や事業実施に係る懸案事項については、「小田原市歴史まちづくり協議会」において協議し、推進にあたる。行政内部の進捗管理を行うため「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」を組織し、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取組が行える仕組みとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・小田原市歴史まちづくり協議会については、計画の推進に向け、第1回を5月、第2回を平成31年1月の計2回開催した。 ・小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議については、各事業や関連事業などの進捗状況をはじめ、重点的な取組や新たな取組における協議を行うため、第1回を5月、第2回を8月、第3回を11月の計3回開催した。 また、小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期計画)の策定に向け、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律運用指針の改正内容等についての共有を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○小田原市歴史まちづくり協議会			
 <p>第1回 協議会の様子</p>		第1回(平成30年5月15日開催) 議題 1 小田原市歴史的風致維持向上計画に基づく取組について (1)平成29年度実績及び計画の進捗評価 (2)平成30年度に実施予定の歴史まちづくりに関する取組 (3)新たな小田原市歴史的風致形成建造物の指定及び指定候補への追加	
 <p>第2回 協議会の様子</p>		第2回(平成31年1月29日開催) 議題 1 小田原市歴史的風致維持向上計画の変更について (1)歴史的環境の保全や整備に関する事業の追加 (2)歴史的風致形成建造物への指定及び指定候補の追加 (3)その他の変更内容 報告事項 1 小田原市歴史的風致維持向上計画に基づく事業等の進捗について(中間報告) 2 歴史的建造物活用エリアコーディネートプランについて(中間報告)	
○小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議			
第1回(平成30年5月9日開催) 1 小田原市歴史的風致維持向上計画の推進に係る事業の進捗及び予定について 2 小田原市歴史的風致維持向上計画と関連する取組について  第2回(平成30年8月15日開催) 1 小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)について (1)歴史的風致維持向上計画の経緯 (2)歴史まちづくり法運用指針の改正について (3)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定に向けて  第3回(平成30年11月26日開催) 1 小田原市歴史的風致維持向上計画に基づく取組について (1)平成30年度の各事業における進捗について (2)平成30年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会に向けて (3)歴史的風致形成建造物の指定及び指定候補について 2 小田原市歴史的風致維持向上計画の変更内容について			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 重点区域はすべて都市計画区域内であり、今後とも都市計画制度等を積極的に活用し、重点区域として相応しい良好な市街地環境の形成を進める。  
 また、景観計画に示された景観形成方針と類型別・構造別の方針に配慮すべき区域内に含まれるほか、3つの拠点型重点区域を含むため、これら景観施策と積極的な連携を図ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成18年に策定した「小田原市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。
- ・重点区域内の民有建築物については、著しく良好な景観に寄与する建築物の新築等における屋根及び外壁に係る設計費及び工事費の一部を助成する「景観形成修景費補助金制度」の活用による修景を実施した。
- ・平成21年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物における規制誘導を行った。(色彩制限有)
- ・平成30年度は、「かまぼこ通り地区」の景観計画重点区域の指定について、説明会を開催し、地元住民と意見交換を行った。

【定量的評価】

拠点型重点区域別の景観届出件数

H30 小田原城周辺地区 5件、小田原駅周辺地区 6件、国道1号・本町南町地区 16件 計27件

※うち景観形成修景費補助金の活用 1件

拠点型重点区域別の許可済み屋外広告物数

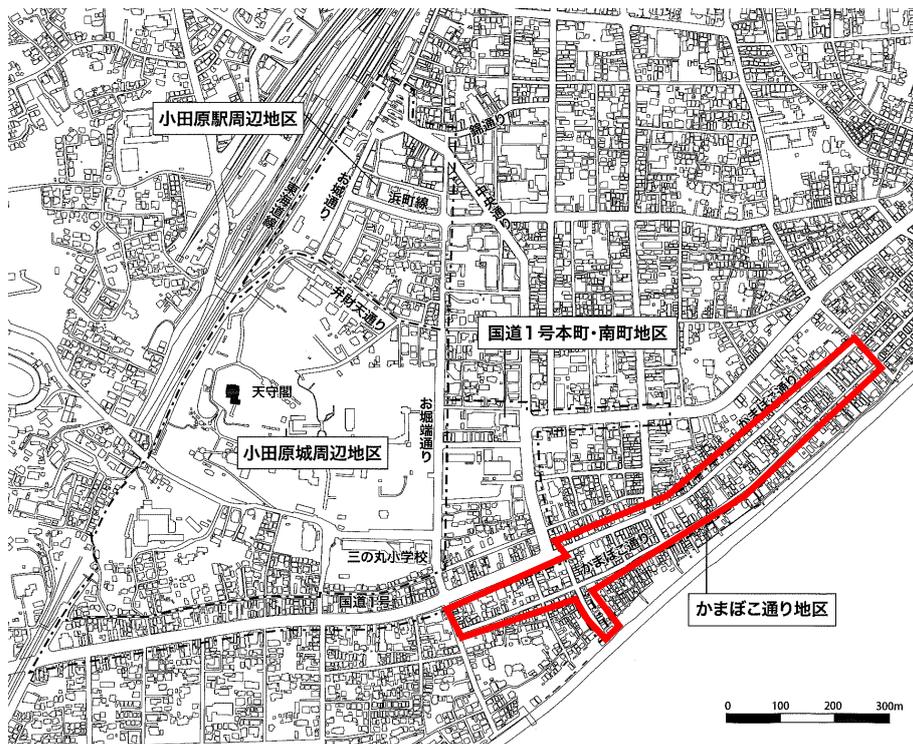
H30 小田原城周辺地区 5件、小田原駅周辺地区 36件、国道1号・本町南町地区 15件 計56件

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 重点区域内における良好な景観形成の事例(景観形成修景費補助金制度によるもの)  
 「12.景観計画重点区域における景観形成修景費補助事業(p.14参照)」
- 新たに景観計画重点区域の指定を検討している区域(かまぼこ通り地区)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
清閑亭保存整備活用事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・地方創生推進交付金・市単独事業

計画に記載している内容 国登録有形文化財の歴史的建造物である清閑亭は、建物の老朽化が著しいため、補修・修理を実施し、観光客・市民の憩いの場、旧別邸等を巡る回遊ネットワークの拠点、別邸文化を発信する施設として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・民間団体の自由な発想を活かすため、NPO法人へ活用委託し、施設に関連したイベントやまち歩きを実施した。
- ・回遊性の拡大に向け、近隣の歴史的建造物(松永記念館、小田原文学館等)と連携したポスターの発行、各施設を紹介する葉書の作成やスタンプラリーを実施した。
- ・神奈川県と民間の協働事業である「湘南邸園文化祭」へ引き続き参加し、市外への積極的な情報発信をした。

【定量的評価】

平成27年度入館者	29,007人	事業数	106事業	参加者数	16,785人
平成28年度入館者	33,201人	事業数	139事業	参加者数	20,719人
平成29年度入館者	33,102人	事業数	106事業	参加者数	27,849人
平成30年度入館者	25,712人	事業数	124事業	参加者数	21,276人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

<活用>

○清閑亭でのイベント(講演会、まち歩き、展示会など)



小さな風鈴市  
(平成30年7月2日～8月1日)  
来館者数:1,196人



明治150年 漢詩展  
(平成30年9月15日～9月30日)  
来館者数:1,019人



七タオカリナコンサート  
(平成30年7月1日)  
来館者数:53人



まち歩き

○回遊性を高める取組



松永記念館、清閑亭、小田原文学館の三館で構成されている「小田原邸園文化ネットワーク」による「おだわら邸園さんぽ」の作成

○神奈川県の協働事業への参加



湘南邸園文化祭パンフレット

○邸園文化貢献賞の受賞



小田原市とNPO法人小田原まちづくり応援団が湘南邸園文化祭の「邸園貢献賞」を受賞

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
松永記念館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 昭和前期に建てられた歴史的建造物である松永記念館については、敷地内に所在する歴史的建造物の修理及び庭園の修景整備等を一体的に実施し、観光客・市民の憩いの場、回遊ルートの拠点とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成28年度に寄贈を受けた無住庵については、松永記念館敷地内への移築に向け、平成29年度の解体実施設計及び移築基本設計をもとに、平成30年度は、解体保管工事及び復元実施設計を実施した。

<活用>

- ・ボランティア団体による庭園呈茶を定期的に行い、来館者に対して呈茶を提供する場を増やした。(平成29年度:8回 平成30年度:13回)
- ・紅葉が見ごろな時期に板橋地区周辺と一体となったイベント「夢見遊山いたばし見聞楽」を実施した。
- ・松永記念館近くにある寄木細工の工房OTAMOKKO(太田木工)と連携した寄木細工体験イベントを実施した。
- ・市民団体が中心となり、小田原にゆかりのある茶人・益田鈍翁を顕彰する「鈍翁茶会」が開催された。

【定量的評価】

来館者数 平成24年度 22,388人、平成25年度 22,905人、平成26年度 22,086人、平成27年度 25,918人  
平成28年度 19,878人、平成29年度 22,461人、平成30年度 22,342人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<整備>

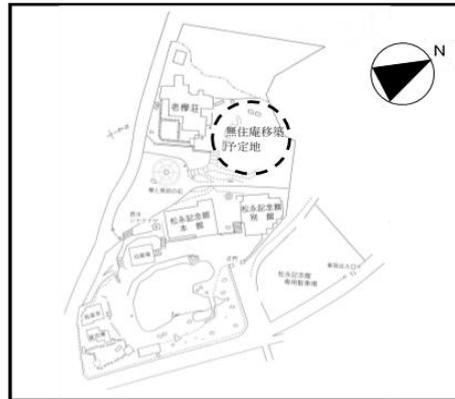
○無住庵の移築



復元に向けた状況調査



屋根の解体工事



移築予定地(老櫨荘向かい、黄梅庵跡)

<活用>

○夢見遊山いたばし見聞楽(平成30年11月3日開催)



地元によるお囃子と見聞楽市



OTAMOKKOでの寄木細工体験



松永記念館茶会

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
皆春荘整備保全活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)・地方創生推進交付金・市単独事業

計画に記載している内容 皆春荘を適切な保全のうえ、主屋、門、庭園の修景整備等を一体的に実施する。また、周辺にある松永記念館、古稀庵、共寿亭(旧山月)とともに、周辺散策の休息拠点や交流施設として整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<整備>  
 ・皆春荘は、元首相清浦奎吾により建てられ、その後、元老山縣有朋の別邸古稀庵の別庵として編入された。古稀庵の多くは解体・移築され、当時のまま残る建物は市内で皆春荘のみである。小田原の別邸文化を伝える遺構として、着実な保全を図るため、本年度公有化した。  
 ・今後は、板橋散策のレストスペース(公園的機能)としての活用を検討しており、地域住民とともに、点から線・面へと小田原の奥行きが感じられる歴史まちづくりを推進していき、地域の魅力を高め、その活性化等を図る。

<活用>  
 ・皆春荘の所在地をはじめ、歴史・ゆかりのある人物や建物の情報と合わせ、回遊性を促進を図るため、近隣の歴史的建造物を紹介するチラシやパネル等を作成し、平成30年11月3日(祝)から一般公開(木曜日～日曜日及び祝日、午前11時～午後3時)を行っている。  
 ・一般公開については、庭園及び玄関の範囲として、軽微な修繕・庭園の整備を行い、臨時職員による来客者への対応(簡単なガイド含む)を実施している。

【定量的評価】  
 平成30年度 開館日:76日 入館者数:2,322人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

<庭園整備>



整備前 → 整備後

<一般公開の様子>



<活用>



皆春荘を紹介するチラシ



表門から玄関へのアプローチ



山縣有朋自筆の書



皆春荘玄関

## 評価軸③-4

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
歴史的風致形成建造物等整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	重点区域内にある歴史的建造物を対象に、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理・修景に対する助成を行うことにより、歴史的建造物の保全・活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・重点区域における歴史的建造物は、歴史的風致の維持及び向上を図る上で必要かつ重要なもの、建造物の意匠、技術が優れ、歴史や地域性、希少性などの観点から価値の高いものを歴史的風致形成建造物に指定し、保存・活用を図っている。</p> <p>・「えじまや(旧江嶋屋陶器店)(南町)」については、歴史的風致形成建造物改修整備費補助金により、現在は、店舗名を「えじまや 和カフェ&amp;陶器」として営業を開始し、一般に公開されている。所有者の同意のうえ、歴史的風致形成建造物として指定した。(平成31年3月15日指定)</p> <p>・歴史的風致形成建造物の指定候補として、「小田原宿なりわい交流館(旧角吉)(本町)」及び「nico cafe(青木家住宅)(栄町)」を追加した。</p>			
【定量的評価】			
歴史的風致形成建造物の指定数			
平成24年度 4件(松永記念館、清閑亭、小田原文学館本館、同別館)			
平成27年度 2件(岡田家住宅、皆春荘)			
平成28年度 2件(無住庵(松永記念館への追加)、旧内野醤油店)			
平成29年度 2件(籠清、江嶋)			
平成30年度 1件(えじまや(旧江嶋屋陶器店)) ※指定候補については、2件追加した。			
計 11件(うち既存指定への追加1件含む)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○歴史的風致形成建造物の指定 1件			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的風致形成建造物(指定番号:10)</li> <li>・「板橋地区周辺にみる歴史的風致」に該当する。</li> <li>・大正12年建築。茶商「江嶋」から暖簾分けを受け、明治時代の後半から陶器商を営む。現在は、「えじまや 和カフェ&amp;陶器」として営業を開始し、一般に公開されている。</li> <li>・1階は純和風。天井には個性的な格子組が見られる(杉柵の格天井)。</li> <li>・2階は洋風。シャンデリア・壁付ブランケットは当時のまま。西面にR型の袖壁を取り入れた稽古用の平舞台を設ける。</li> </ul>	
改修後のえじまや(旧江嶋屋陶器店)(南町)			
○歴史的風致形成建造物の指定候補の追加 2件			
			
小田原宿なりわい交流館(旧角吉)(本町)		nico cafe(青木家住宅)(栄町)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和7年建築。木造2階建て、出桁造り 切妻屋根(平入り)</li> <li>・平成13年に「小田原宿なりわい交流館」として整備し、開館。市民や観光客の「憩いの場」として、誰でも立ち寄れる「お休み処」等として活用している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和3年建築。2階建て、出桁造り。</li> <li>・もとは建具屋の店舗であり、現在は、「nico cafe」という喫茶や軽食等の店舗として活用されている。</li> <li>・仕口には、「組手腰」と呼ばれる伝統工法が用いられている。</li> </ul>	

評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業

計画に記載している内容 「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」に基づき、史跡整備や回遊ルート整備を進め、市街地の歴史的環境の改善や本市固有の歴史的な景観の保全をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・御用米曲輪については、平成22年度の整備実施設計に基づき、平成25年度から北東・北西土塁の形状復元や地被植栽、駒寄の設置等の修景整備工事を行い、平成30年度は、北西土塁の修景整備工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○修景整備工事



北西土塁(施工前)



北西土塁(施工後)

○史跡整備の周知



市広報掲載記事(平成30年3月)



YouTubeによる住吉橋保存修理工事の映像配信



市広報掲載記事(平成30年9月)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
八幡山古郭・総構整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和2年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業		
計画に記載している内容	小田原のまち割りを規定している戦国時代の文化遺産として、順次、史跡小田原城跡の八幡山古郭及び総構の整備や史跡小田原城跡を説明するためのガイダンス施設整備を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「史跡小田原城跡八幡山古郭・総構保存管理計画」より、史跡指定を進めるとともに、公有地化を図っている。平成30年度は、小峯御鐘ノ台大堀切東堀の一部を史跡として追加指定した。 ・平成29年度より史跡小田原城跡管理については、小田原城総合管理事務所へ移管し、八幡山古郭・総構についての一体的な維持管理体制を整え、土塁や堀の形状が分かるよう草刈などを行った。 ・民間団体主催による総構を巡るツアーなどを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○民有地の史跡指定



位置図



史跡指定した小峯御鐘ノ台大堀切東堀

○総構を巡るツアーの実施後援

大外郭の会主催見学会

小田原城総構を一周しよう!!



民間団体主催の総構ツアーのチラシ  
(平成30年11月10日開催)

小田原城跡は天正18(1590)年、天下統一を目前にした豊臣秀吉の小田原攻めの際に本丸が小田原の陣全体を守るために築いた全周制にも及ぶ防壁です。秀吉軍は約15万の大軍を率って小田原城を取り囲み、総構は約100目にも及び轟引きも真北東向きに築かれたため、攻城ではなく、開城でした。プラザでも取り上げられ、市民にも大変な人気を博したイベントとして実施しよう。

日時：平成30年11月10日(土) 少雨催行雨天中止  
 時間：9:00～17:00ごろ  
 集合場所：小田原駅西口北条早雲公像前  
 ●地図：806、※参加申し込み後当日は到着までに兼ねてください。  
 ●参加費：大外郭の会主催、定額0円(2025年7月川瀬川園内見学会 860-10)  
 ●FAX受付：0465-24-0254 ◆メール受付：ozzbons@yahoo.co.jp  
 ●申込事項：「住所・氏名・電話番号」(仮録用) ◆申込締切：11月7日(水)まで  
 ●お申し込み：1000円、当日受付時に現金にてお申し込みください。お申し込み、お申し込み、お申し込み  
 主催：大外郭の会 後援：小田原市教育委員会

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物等について、案内板や情報板の新設・更新を実施する。市民や来訪者が建造物等への理解を深めることができるとともに、歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークが形成される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・案内板等の整備に向け、これまでに設置した案内板の設置状況を把握するため、ウォーキングタウン小田原散策マップ(東部、中央、西部)を基に全11コース中、中央を重点的に6コースの踏査を行った。
- ・コースを踏査のうえ、平成30年度は中央5箇所、東部1箇所、西部2箇所の整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

これまでに相当数の案内板が設置された。今後は、さらなる回遊性向上のため、既存の案内サインの維持管理や効果的な配置に向けた検討など重点的に行っていく予定である。

状況を示す写真や資料等

○踏査を行った案内板



○案内板の整備



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
小田原文学館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和2年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業、街なみ環境整備事業の効果促進事業)・市単独事業
計画に記載している内容	国登録有形文化財である小田原文学館(本館・別館)は、屋根の改修を実施するとともに、周辺の歩行者空間の整備等と併せて、施設内に新たな便益施設を整備し、まちなかを回遊する際の休憩施設としての機能を付加する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成25・26年度に小田原文学館本館・管理棟及び白秋童謡館の改修計画を作成し、平成28年度の実施設計に基づき、平成29・30年度に白秋童謡館の耐震補強、劣化部分の補修、銅板屋根の葺替工事を実施した。
- ・平成30年4月14日(土)に改修工事の現場説明会を実施した。
- ・小田原文学館改修等工事に伴う実施設計を実施した。(平成30年9月25日から平成31年2月28日)
- ・小田原出身・ゆかりの文学者らの文学碑への理解を深めてもらうため、文学碑説明板を設置した。

【定量的評価】

小田原文学館 来館者数

平成23年度:9,121人、平成24年度:9,578人、平成25年度:8,068人、平成26年度:8,501人、平成27年度:10,012人、平成28年度:8,834人、平成29年度:7,823人、平成30年度:8,585人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

<整備> ○改修後の白秋童謡館



○現場説明会



開催日 平成30年4月14日(土) 参加者数19人



銅板葺き屋根と装飾的な繰形の板(懸魚)

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
旧松本剛吉別邸(岡田家住宅)整備保全活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)・地方創生推進交付金・市単独事業		
計画に記載している内容	旧松本剛吉別邸については、適切な保全のうえ、主屋、茶室、庭園の修景整備等を一体的に実施する。また、周辺の別荘・別邸文化を発信する交流施設として整備することにより、市民や観光客がより容易に歴史的風致に触れることができるような環境整備や周辺地域の回遊性の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>&lt;整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧松本剛吉別邸は、主屋と別棟の茶室(雨香亭)・待合等の建物と、築山や水景を伴う庭園から成り、茶道での交流が盛んであった近代小田原の別邸文化を伝える貴重な遺構として、着実な保全を図るため、本年度、公有化した。小田原駅・小田原城から、かまぼこ通り、西海子小路、箱根板橋駅周辺、小田原漁港周辺地区などをつなぐ位置に立地していることから、今後は、観光交流を促進する拠点施設としての活用を検討していく。</li> <li>庭園整備については、主屋へ倒木の危険性があつた赤松を伐採し、入館者の安全確保を行った。</li> </ul> <p>&lt;活用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に引き続き、庭園及び茶室の一般公開を行った。(木曜日～日曜日及び祝日、午前11時～午後3時)</li> <li>※昨年度までは、歴史的風致形成建造物等活用事業として一般公開をしていた。</li> </ul> <p>【定量的評価】</p> <p>平成28年度 開館日:172日 入館者数:7,005人                  平成29年度 開館日:203日 入館者数:9,538人                  平成30年度 開館日:181日 入館者数:6,070人 ※8月は、庭園整備等のため休館とした。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあつての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
<p>&lt;保全&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>赤松伐採前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>赤松伐採後</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>庭園整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>庭園整備後</p> </div> </div>			
<p>&lt;活用&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;">  <p>旧松本剛吉別邸を紹介するトラム</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>旧松本剛吉別邸 主屋及び茶室「雨香亭」</p> </div> <div style="width: 20%;">  </div> </div>			

項目	評価対象年度	平成30年度
国道255号電線地中化事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(道路事業(基幹事業))

計画に記載している内容 国道255号電線類地中化全体計画のうち、旧甲州道に位置する銀座・竹の花周辺地区において、電線類地中化を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成23～29年度 電線共同溝工事等を実施  
 ・平成29年度 栄町一丁目交差点～竹の花交差点間 事業完了  
 ・平成30年度 竹の花交差点～栄町三丁目交差点間西側歩道 支障物件移設工事完了(平成30年度計画分)

○事業実績  
 平成30年度 (実績延長)L=120m (計画延長)L=120m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

歩道のデザイン等、地元調整を充分行い、景観上望ましいものに誘導していく必要がある。北伸部についても、実施設計において、照明灯の位置と共に、街路樹の植栽などを調整する必要がある。

状況を示す写真や資料等

小田原駅  
 栄町三丁目交差点  
 竹の花交差点  
 栄町一丁目交差点  
 銀座通り交差点  
 法務局前交差点  
 国道1号  
 市道2189  
 国道255号  
 H30支障物件移設工事

栄町三丁目交差点付近より北を望む

竹の花交差点付近より北を望む

**評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
------------------------	---	--

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 旧甲州道沿いに位置する銀座・竹の花周辺地区において、地区街づくり基準に基づく景観修景への助成、案内板の設置等を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・「銀座・竹の花周辺地区街づくり基準」に基づく良好な景観形成に寄与する事業に対して、「街なみ環境整備事業補助金」により経費の一部を助成し、景観の形成を図っている。また、必要に応じて「銀座・竹の花周辺地区街づくり協議会」で協議し、良好な景観形成に向けた取組を進めている。  
 ・「10.国道255号電線地中化事業」(p.12参照)による電線類の地中化、歩道的美舗装化、街路樹の植栽により、当該地区の街なみに変化が生まれた。

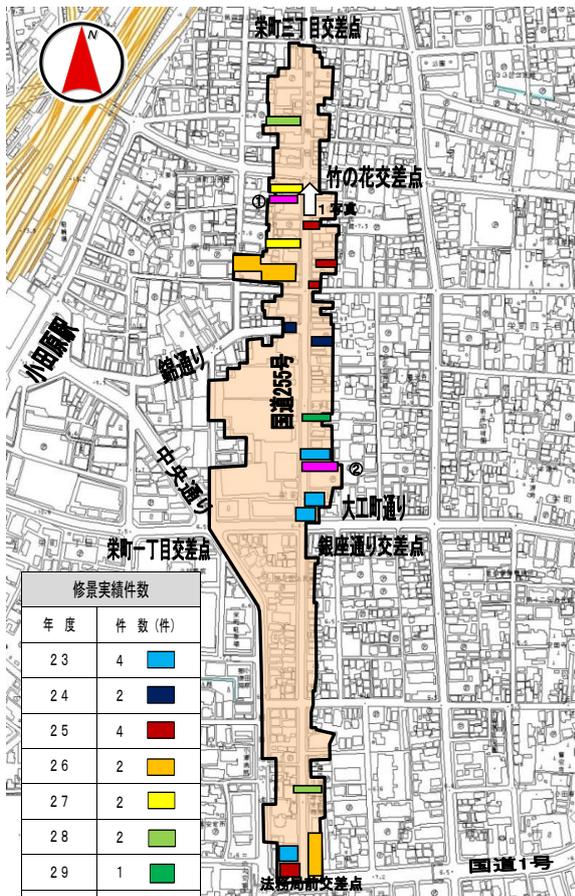
**【定量的評価】**

街なみ環境整備事業補助件数  
 平成23年度:4件、平成24年度:2件、平成25年度:4件、平成26年度:2件、平成27年度:2件、  
 平成28年度:2件、平成29年度:1件 平成30年度:2件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修景実績件数		
年度	件数(件)	
23	4	<span style="color: blue;">■</span>
24	2	<span style="color: darkblue;">■</span>
25	4	<span style="color: red;">■</span>
26	2	<span style="color: orange;">■</span>
27	2	<span style="color: yellow;">■</span>
28	2	<span style="color: lightgreen;">■</span>
29	1	<span style="color: green;">■</span>
30	2	<span style="color: pink;">■</span>
合計	19	

○街なみの変化  
竹の花交差点周辺




平成22年                      平成30年

○街なみ環境整備事業補助金



①花政(修景前)



花政(修景後)



②江島(修景前)



江島(修景後)

**評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
景観計画重点区域における景観形成修景費補助事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 景観計画における3つの拠点型重点区域(小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、国道1号本町・南町地区)において、景観形成の方針に基づく景観修景に対する助成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・拠点型重点区域の景観形成の方針に基づく良好な景観形成に寄与する事業に対して、「景観形成修景費補助金」により経費の一部を助成し、景観の形成を図っている。

【定量的評価】  
 景観形成修景費補助件数 平成30年度:1件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観計画重点区域(拠点型重点区域)



○景観形成修景費補助事業  
 池田邸(新築)外構工事  
 ・拠点型重点区域「国道1号本町・南町地区」に該当する。  
 ・旧東海道(国道1号)沿道部に位置し、建物については、景観計画の色彩基準に適合している。また、植栽を増やすなど、通り沿いの街並に景観に配慮したものとなっている。  
 ・補助対象の工事については、旧東海道側の化粧ブロック積工事及び植栽工事、北側の通路自然石乱貼工事等である。



池田邸(国道1号側)



池田邸(北側)

**評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
かまぼこ通り地区における街なみ環境の向上		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 小田原かまぼこ通り周辺地区において、建築物等の修景整備に対する助成、歩車道の美装化や緑化、横断線の地中化等に取り組み、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市道2035の景観舗装工事及び横断線地中化工事委託を実施した。  
 また、景観舗装の色彩については、地区まちづくり協議会(小田原かまぼこ通り活性化協議会)が目指すまちづくりの周知と併せて、地区住民へのヒアリングを実施することで、意向を反映した色彩(ページユ)とした。  
 ・令和元年度、2年度の工事は、市道2033、市道2035の景観舗装工事を予定している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○工事箇所



○市道2035 景観舗装工事・横断線地中化工事委託



施工前(赤枠:景観舗装工事箇所)



施行後

評価軸③-14  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
祭礼等保存継承事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祭礼等の伝統文化の継承に必要な道具の更新を行い、歴史的風致を形成している活動の継続を図りながら、それらの活動のPR等を通じて、地域の伝統文化伝承の意識と担い手の育成などの効果を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・無形民俗文化財については、市民等に対し地域の民俗芸能の周知・啓発を図るため、地域の祭礼や学校の農業体験学習で民俗芸能団体(栢山田植歌保存団体など)の活動のPRを行った。  
・平成30年度の小田原ちょうちん夏まつりと市内の自治会神輿によるパレードは、台風の影響で中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「栢山田植歌」  
(平成30年6月13日)  
※報徳小水稲栽培体験学習に参加



「根府川寺山神社の鹿島踊り」  
(平成30年7月15日)



「白髭神社奉射祭」  
(平成31年1月7日)

評価軸③-15  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況
歴史的風致形成建造物等活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 地方創生推進交付金・市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物等の維持管理や定期的な一般公開等の活用を進める法人等を支援し、回遊・交流拠点としての機能を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致形成建造物の「旧内野醤油店(板橋)」は、地域住民団体による、一般公開やイベントなどを実施した。  
 ・歴史的建造物である「旧瀬戸たばこ店(本町)」は、おだわら城町アートプロジェクトの一環として、JAZZ喫茶を実施した。  
 ・「えじまや(旧江嶋屋陶器店)(南町)」については、十字歴史・文化勉強会の主催するまち歩きにて、見学会兼食事を開催した。

【定量的評価】  
 旧内野醤油店 平成28年度 開館日: 65日 入館者数: 978人 催事数: 11  
 平成29年度 開館日: 44日 入館者数: 899人 催事数: 14  
 平成30年度 開館日: 46日 入館者数: 780人 催事数: 7 武功庵 21回(495人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○旧内野醤油店



五月人形の展示を実施

○旧瀬戸たばこ店



おだわら城町アートプロジェクト  
歴史的建造物活用事業「JAZZ喫茶」  
平成30年12月1日開催  
入場者数: 168人

○歴史的風致形成建造物 見学会



えじまや(旧江嶋屋陶器店)前にて集合写真  
平成30年11月20日開催

チラシ

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致が色濃く残る板橋地区やかまぼこ通り地区において、歴史的環境にあった街なみ形成や景観に配慮したまちづくりの推進に向け、景観調査、住民とのワークショップによるルールづくり、協議会への組織化等の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<板橋・南町地区>  
 ・大窪及び十字地区については、「歴史・文化」をテーマとしたまちづくりを掲げており、地区内に残る貴重な歴史的・文化的資源を継承していくための勉強会を設立し、公民連携による歴史まちづくりの推進を図っている。  
 ・十字地区については、勉強会を5回開催した。11月には、地区内の歴史的資源(建造物等)のまち歩きを開催し、歴史的風致形成建造物(指定番号:10)の「えじまや(旧江嶋屋陶器店)(南町)」にて、見学会兼食事会を実施した。  
 大窪地区については、勉強会を3回開催した。

<かまぼこ通り地区>  
 ・(公財)東日本鉄道文化財団の支援により、小田原かまぼこ通り活性化協議会が主体となり松原神社御神庫の修景を実施した。  
 ・かまぼこ通り周辺地区については、景観計画重点区域化の検討をしていることから、小田原かまぼこ通り活性化協議会と連携し、地区住民を対象としたヒアリングを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

先行地区を中心にハード面での取組みと地区住民に主体性を持てるようなソフト面の取組みを実施し、持続可能な自立した仕組みづくりを促進する必要がある。

状況を示す写真や資料等

<板橋・南町地区>  
 ○板橋・南町地区の歴史・文化勉強会



第1回十字歴史・文化勉強会  
平成30年5月29日開催  
5名の市民が参加した



十字歴史・文化勉強会主催まち歩き  
平成30年11月20日開催  
7名の市民が参加した



第2回大窪歴史・文化勉強会  
平成31年1月30日開催  
6名の市民が参加した

<かまぼこ通り地区>  
 ○(公財)東日本鉄道文化財団の支援による地区内にある松原神社神輿庫の修景を実施



修景後の松原神社御神庫



松原神社 御神庫修景事業完了お披露目式  
平成30年9月9日



評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
なりわい交流館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	なりわい交流館において、小田原の地場産業の情報発信や生涯学習等の各種イベントの会場として、市民や観光客が交流する場を提供することにより、本市の歴史と伝統への認識を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開館から16年が経過し、誰でも立ち寄れるお休み処として、また、観光客の回遊拠点として定着している。 ・来館者数：平成29年度 39,001人 平成30年度 43,756人 ・自主事業の開催：平成29年度 1回開催 来場者数266人、平成30年度 1回開催 来場者数92人 ・イベント会場の利用回数：平成29年度 122回 平成30年度 104回			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>○小田原宿なりわい交流館機能                      観光案内や休憩のために立ち寄っていただき、建物自体の持つ古い旅籠の雰囲気や、展示物の生業(なりわい)に関する資料に触れて頂くことにより、歴史と伝統への認識を高めている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;1階&gt; 観光案内・お休み処</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;2階&gt; イベントスペース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施設外観</p> </div> </div> <p>○地場産品のPRとおもてなし機能の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①多言語対応のタブレットの設置                      開始日：平成30年10月1日                      内容：7か国対応の多言語通訳機能を有するタブレットを導入した。</li> <li>②利きかまぼこ体験                      開始日：平成30年11月3日                      実施日：第1・3土・日曜日(11月は毎週土・日曜日、祝日)                      内容：小田原に12軒あるかまぼこ屋の「利きかまぼこ」を実施した。                      1回500円で6軒分のかまぼこを食べ比べ。</li> <li>③梅の風の販売                      開始日：平成30年11月1日                      内容：JAかながわ西湘特産の果肉の厚い梅を使用した清涼飲料水「梅の風」を販売。</li> <li>④「クリスマスに贈ってほしい木のもの」展                      期間：平成30年12月8日(土)～9日(日)                      内容：「クリスマスの贈り物」をテーマに、若手木工職人が薦める木製品の展示・販売とワークショップを開催。(風車作り、本格マイ箸作りなど)                      主催：いぶき会</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>利きかまぼこ体験(6軒分)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「クリスマスに贈ってほしい木のもの」展 チラシ</p> </div> </div>			

評価軸③-19  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
伝統的工芸品産業産地組合助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中世より続く小田原漆器などの伝統的工芸品を担う事業者団体の活動を支援し、担い手の育成や伝統技術の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業については、従事者・後継者育成事業、販路開拓事業があり、担い手の育成や伝統技術の継承に寄与するため、助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○組合による従事者・後継者育成事業  
平成31年1月8日、10日、15日、17日、22日、2月5日、7日の7日間、延べ131人参加。



○組合による販路開拓事業  
平成30年11月23日～25日の『小田原・箱根「木・技・匠」の祭典』に合わせて実施。(会場:ハルネ小田原)



評価軸③-20  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
小田原散策マップ等作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的なまちなみ・施設等の分布、史実等のストーリーや回遊ルート等を紹介する散策マップを作成・配布することにより、点在する歴史的資源における回遊が促進され、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、愛着を育むことにより、歴史的な生業や活動の活性化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・ウォーキングマップおだわら散策マップは、東部版、中央版、西部版の3種類あり、今年度は中央版を発行した。 ・発行に向けては、記載内容等の確認を実施し、小田原城歴史見聞館のリニューアルオープンに伴う対応などを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	毎年、ウォーキングコースに設置した道標や案内板などの設置状況を調査した上で、散策マップの作成に当たっている。		
状況を示す写真や資料等			

○おだわら散策マップの全体エリア



○おだわら散策マップ中央版



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
レンタサイクル事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度  
 支援事業名 地方創生推進交付金・市単独事業

計画に記載している内容 レンタサイクルの利便性を高めることにより、旧城下やその周辺に点在する歴史的資源をより容易に巡ることが可能となり、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会を増やし、歴史的な生業や活動の活性化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年12月に小田原駅東口駐車場の一角に新たな貸出所を設けて以来、利用台数は増加傾向にある。  
 【貸出実績】(城:小田原城歴史見聞館、駅:小田原駅東口駐車場)  
 平成24年度:1,786台(城のみ)  
 平成25年度:1,768台(城のみ)  
 平成26年度:2,091台(城のみ)  
 平成27年度:2,554台(城:1,864台、駅:690台) ※H27.12小田原駅東口駐車場内に拠点を増設  
 平成28年度:4,113台(城:1,109台、駅:2,930台、梅まつり期間臨時貸出所:74台)  
 平成29年度:4,205台(城:920台、駅3,195台、梅まつり期間臨時貸出所:90台)  
 平成30年度:3,148台(城286台、駅2,790台、梅まつり期間臨時貸出所:72台)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 本事業は、非常に天候の影響を受ける事業である。  
 今年度の夏季シーズンは、猛暑の影響もあり、低調な利用状況であった。

状況を示す写真や資料等

小田原の爽やかな風を感じながら  
 観光スポット巡りをしませんか。

①小田原駅東口駐車場 (TEL:070-5456-2288)  
 ②小田原城歴史見聞館 (TEL:0465-22-5795)  
 ※平成30年8月から平成31年4月中旬まで  
 歴史見聞館改修のため利用できません。

貸出料金  
 普通自転車 1回 500円  
 電動アシスト付自転車 1回 1,000円(貸出所は1のみ)

利用時間  
 9:00~16:30(最終貸出は15:30)

休業日  
 ①12月31日、1月1日 ②5月3日、8月1日~4月中旬  
 (施設改修期間)

予約受付時間  
 9:00~16:00  
 ※お休みの日、お盆期間を除き  
 070-5456-2288

発見いろいろ! 探してみよう! 城下町おだわら

小田原湾  
 2017年に認定された「小田原湾」は、自然豊かな景観と、歴史ある建物や施設が点在する。また、湾内には多くの文化施設や観光施設があり、観光客の心を魅了する。また、湾内には多くの文化施設や観光施設があり、観光客の心を魅了する。

小田原城  
 小田原城は、1600年代に築かれた、徳川幕府の支城として栄えた。城跡には、多くの文化施設や観光施設があり、観光客の心を魅了する。

小田原公園  
 小田原公園は、1600年代に築かれた、徳川幕府の支城として栄えた。公園内には、多くの文化施設や観光施設があり、観光客の心を魅了する。

小田原城跡  
 小田原城跡は、1600年代に築かれた、徳川幕府の支城として栄えた。城跡には、多くの文化施設や観光施設があり、観光客の心を魅了する。

小田原大学  
 小田原大学は、1600年代に築かれた、徳川幕府の支城として栄えた。大学内には、多くの文化施設や観光施設があり、観光客の心を魅了する。

小田原湾  
 小田原湾は、1600年代に築かれた、徳川幕府の支城として栄えた。湾内には、多くの文化施設や観光施設があり、観光客の心を魅了する。



自転車で市内を周遊する様子

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
民俗芸能保存支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致を構成する民俗芸能は、中心市街地の若年層の減少により、次世代の担い手不足が懸念されているため、保存活動団体の担い手育成や普及啓発などの取り組みを支援することにより、民俗芸能の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・小田原民俗芸能保存協会は、市内に残る民俗芸能団体により構成され、民俗芸能の保護・育成に努め、毎年秋に協会構成団体が一堂に会し、日頃の練習成果を発表する後継者育成発表会を開催し後継者の育成を図っている。
- ・平成30年度は、12月9日(日)に小田原市民会館で開催した。(参加団体数: 8団体)
- ・「栢山田植歌」では、報徳小学校の児童が参加。また、休憩時間中には「祭囃子のワークショップ」を開催し、祭囃子を実際に体験できる企画を実施した。
- ・団体間の相互交流の場とし、市民や次世代を担う子どもたちへ民俗芸能の普及を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



開会式



山王原大漁木遣唄



小田原祭囃子連絡協議会



小田原ちようちん踊り保存会



曾我別所寿獅子舞保存会



小田原囃子多古保存会



根府川寺山神社鹿島踊保



栢山田植歌保存会



相模人形芝居下中座



高65歳 小田原市民文化祭 参加 入場無料!  
 平成30年 12月9日(日) 12:00開場 小田原市民会館 大ホール  
 12:30開演 14:00閉了予定

平成30年度 小田原民俗芸能保存協会 後継者育成発表会  
 ワークショップ  
 祭囃子の水鏡を体験してみよう!  
 当日受付時間: 11時～15時  
 定員: 50名(小学生30名)  
 申込: 11月15日(金)まで  
 応募: 下記文化財課まで

後継者育成発表会チラシ

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財記録作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の伝統文化伝承への意識を高め、無形文化財等の担い手育成などを促進するため、無形民俗文化財の実態調査や現在における詳細な記録を作成し、後世に確実に継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内の多くの地域で行われている祭礼のうち「鹿島踊」について、平成29年度に引き続き、鹿島踊が披露される祭礼の取材等を行った。平成30年度は、「根府川寺山神社」、「米神正八幡神社」にて取材等を行った。  
 ・全国的に歳神の祭として知られる「どんど焼き」について、関東甲信越地方では道祖神の祭であり、小田原市域でも特色ある行事が行われているため、実施内容や運営組織等の現状を取材した。  
 ・それぞれの取材結果の記録を作成し、後世への継承を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



根府川寺山神社祭礼(鹿島踊) 平成30年7月15日(日)



米神正八幡神社祭礼(鹿島踊) 平成30年5月12日(土)



左: 西大友どんど焼きのサイト (平成31年1月12日(土))

右: 前川の人形山車 (平成31年1月13日(日))



評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の総合的把握・育成支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 文化財を総合的に把握する仕組みを構築することで、文化財の効果的な活用を図り、また、保存・活用に携わる団体・個人を育成する取組を支援していき、全市において歴史まちづくりの推進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市内の文化財を総合的に把握する作業の一環として、石造物を記録し後世に残す取組を進めた。
- ・平成29年7月に市民ボランティアによる石造物調査会が発足され、文化財に対する理解を深める機会となっている。現在は、24名がボランティアとして参加している。(平成31年3月末現在)
- ・本年度は小田原市早川地区を調査し、庚申塔や記念碑、彩色地藏など約100個の石造物を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施にあたり、調査手法や会の運営方法など参加者と協議しながら、持続可能な形態を模索している。また、石造物以外の文化財についても把握する必要があり、ボランティアによる調査活動を広げていくため、ボランティアによる比較的容易な祭礼調査などを検討していく。

状況を示す写真や資料等



調査票の清書作業  
(平成30年4月21日)



ボランティアによる調査の様子  
(採寸作業、平成30年5月19日)



ボランティアによる調査の様子  
(記録作業、平成30年6月5日)



ボランティアによる調査の様子  
(判読作業、平成30年5月19日)

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
伝統行事・伝統文化啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統文化については、普及啓発に係るイベントの開催やパンフレットの制作により、人々の伝統文化への意識を高め、担い手の発掘、育成を行う。		
・小田原市民文化祭における伝統文化発表会等(吟剣詩舞道大会、いけばな諸流展など)を開催した。 (開催期間:平成30年9月24日～平成30年12月16日) ・市内各小学校で伝統文化のアウトリーチ事業(和太鼓、落語)を実施した。 ・伝統芸能のワークショップ(日本舞踊・能)を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

○小田原市民文化祭



チラシ

○小学校での伝統文化のアウトリーチ事業



和太鼓6校  
 (平成30年6月22日、10月1日、10月10日、  
 10月29日、10月30日、10月31日)  
 総参加者数:1,827人



落語1校  
 (平成30年11月26日)  
 参加者数:222人

○伝統芸能(日本舞踊・能)ワークショップ



日本舞踊ワークショップ  
 (平成30年11月30日) 参加者数:136人



能楽ワークショップ  
 (平成31年2月16日) 参加者数:17人



評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
職人育成研修等推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和2年度

支援事業名 地方創生推進交付金・市単独事業

計画に記載している内容 法人等と連携し、歴史的建造物の調査・実態把握と職人育成研修(調査・整備・改修等を兼ねた実践型研修)を進め、歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人の育成を図る。  
また、歴史的建造物の改修・整備、活用等を促進するための相談対応等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・伝統工法に通じた職人の育成等を目的として設立された「NPO法人おだわら名工舎」への業務委託により、清閑亭の北面雨戸、旧岸田邸板塀、皆春荘の玄関式台・内開き戸等、旧松本剛吉別邸(岡田家住宅)の出入り口門扉を教材とした修復・修景等の実習を行った。  
・建物の歴史的な価値評価、日常の維持管理、改修・整備等に関する相談に対し、助言を行った。

【定量的評価】

平成29年度 職人育成研修の実施件数 4件(各研修の参加者数の合計 58人)  
相談の受付数(調査・修理相談等) 7件  
平成30年度 職人育成研修(修復実習)の実施件数 4件(各研修の参加者数の合計 48人)  
相談の受付数(調査・修理相談等) 8件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない 職人の育成による伝統工法の技術継承に加え、受講者を含む関係者により、公有・民有の歴史的建造物の維持保全を担う専門的組織の編成を目指す。

状況を示す写真や資料等

○旧岸田邸板塀(西海子小路)の修復実習(平成28年度から継続、平成30年度で板塀すべての修復が完了)

受講者: 神奈川県立小田原城北工業高等学校建設科木工班(延べ34名)、指導: 小田原大工職組員



修復前(今回実施部分: 不朽が進んで倒壊の危険があった。)



修復後①(今回実施部分: 平成29年度分の右手)



実習作業①(部材の加工)

○皆春荘(板橋)玄関式台の修復実習

受講者: 大工職組員(延べ4名)、指導: 「おだわら名工舎」理事



修復前の玄関(手前の式台が歪み転倒の危険性があった)



修復後②(平成28・29年度実施部分)



実習作業②(部材の組立)



実習作業①(羽目板を外し土台部分を確認)



実習作業②(腐朽した根太を修復し羽目板を原状復帰)



修復後

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
	現在の状況	
文化財の指定	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 重点区域内には、国指定史跡である史跡小田原城跡をはじめとする多くの指定文化財が存在しており、本市の歴史的風致の維持向上のため、関連法令等に基づき保護措置を講じて、保存・活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・史跡等の追加指定1件。小峯御鐘ノ台大堀切東堀(評価軸③-6 八幡山古郭・総構整備事業 参照)
- ・平成30年度は新規に3件を市指定文化財に指定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

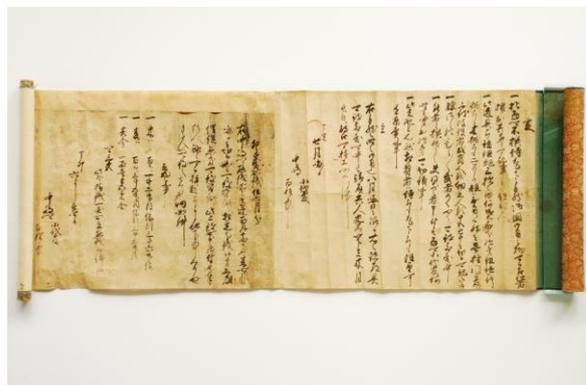
○平成30年度 新規 指定文化財 3件(平成31年2月22日指定)



絹本著色北条時長像(市内風祭 寶泉寺)



上輩寺五輪塔群(市内酒匂 上輩寺)



和田家文書(郷土文化館)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成30年度

文化財の修理(整備を含む)及び防災	現在の状況
	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財の修理及び整備にあたっては、文化財の価値を損なうことなく適切な保存を図る必要があるため、詳細な調査を行い、履歴に基づいた修理及び整備を実施する。  
 日常から文化財の防災に対する意識を向上させるため、所有者・管理者・地域住民・消防が一体となった防災訓練を定期的実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<文化財の修理(整備含む)>  
 ・史跡小田原城跡御用米曲輪において、修景整備工事を進めた。  
 ・国・県・市指定文化財や小田原ゆかりの優れた建築物の修理に対する補助事業を6件実施した。  
 <文化財の防災>  
 ・「文化財防火デー」にあわせ、消防と連携し、消防訓練(二宮尊徳生家)や設備点検・防火指導(7箇所)を実施した。  
 ・7箇所の文化財所有者を対象に、設備点検や防火指導を行った。また、広報誌等で防火意識の向上に向けた啓発活動を行った。  
 <文化財の防犯>  
 ・史跡小田原城跡については、臨時職員による定期的な見廻り(週1回)を実施した。あわせて、除草・清掃活動を実施した。  
 ・個人や法人が所有する文化財については、所有者からの年1回の管理状況に関する報告にあわせ、日常の点検・監視について推奨した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

<文化財の修理(整備を含む)>

○御用米曲輪修景工事



北西土塁(施工前)



北西土塁(施工後)

<文化財の防災>

○消防訓練



二宮尊徳生家(尊徳記念館)  
(平成31年1月18日)

○設備点検・防火指導



市内7箇所  
(平成31年1月18、21日)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財を積極的に公開することにより、誰もが気軽に歴史的風致に触れることができる環境づくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・「文化財公開事業」として、埋蔵文化財の出土品展や遺跡調査発表会、遺跡見学会、文化財建造物や寺社に保存されている指定文化財の公開等の事業を開催した。
- ・文化財について、次世代を担う子どもたちが興味・関心を持つ身近な学習機会とするため、「文化財公開事業」を校長会で取り上げてもらうとともに、小中学校へのチラシ等の配布を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○文化財公開事業



最新出土品展チラシ(小中学校へも配布)



最新出土品展  
(平成30年10月27日～11月11日)  
来場者数730名



遺跡調査発表会  
(平成30年11月4日)  
来場者数104名



遺跡見学会  
(平成31年3月開催)

○文化財建造物春の見学会(平成30年6月28日)



岩瀬家主屋  
(鴨宮)

○文化財建造物秋の観覧会(平成30年11月11日)



古稀庵  
(板橋)



勝福寺(仁王門)  
(飯泉)



静山荘  
(南町)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
国道255号 電線地中化	平成30年5月19日	神静民報
「箱根八里」が日本遺産に	平成30年5月25日	神静民報、朝日新聞ほか
小田原の見どころ再発掘 まちあるき モニターツアー一盛況	平成30年6月19日	神静民報
小田原ゆかりの映画「この道」	平成30年6月28日	神静民報
小田原「歴まちカード」配布	平成30年8月24日	毎日新聞、神奈川新聞ほか
活用案募集前に案内会 豊島邸現地見学、構想練る	平成30年9月26日	神静民報
小田原街かど博物館 総務大臣表彰 受ける	平成31年2月14日	神静民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・国道255号電線地中化事業(p.12)、「箱根八里」の日本遺産の認定について、北原白秋を描いた映画「この道」について、歴まちカードについて(p.37)、寄贈を受けた豊島邸の現地見学会について、小田原街かど博物館 総務大臣表彰について報道された。  
 ・イベント開催時には、行政側から積極的な情報提供をすることで各種メディアから取材があり、報道されることにより市民等に周知することができ、本市の歴史に関する取組について、関心を高めることが出来た。

【定量的評価】

小田原市が、各種メディア(映画・テレビ・CMなど)に取り上げられた件数 ※( )内は依頼・相談のあった件数  
 H23:100件(233件)、H24:74件(155件)、H25:70件(144件)、H26:85件(168件)、  
 H27:101件(179件)、H28:94件(171件)、H29:73件(121件)、H30:120件(167件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり  
 ■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



平成30年5月19日付 神静民報



平成30年5月25日付 神静民報



平成30年8月24日 毎日新聞



平成30年9月26日 神静民報



平成31年2月14日 神静民報

評価軸⑥-1  
その他

評価対象年度 平成30年度

項目

小田原城天守閣の魅力向上

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・平成28年5月のリニューアル後からの天守閣入場者数が平成29年7月5日に累計100万人を達した。  
【小田原城天守閣入場者数】平成29年度 738,086人 平成30年度 603,318人
- ・小田原城や周辺施設を活用した誘客対策の実施した。  
「小田原開府五百年」天守閣特別展を開催した。(平成30年10月27日～12月24日)  
関連シンポジウム「戦国都市・小田原の風景」及び特別講演「小田原開府五百年のあゆみ」を開催した。  
(参加者数:473人)
- ・歴史見聞館耐震化改修工事・展示物等リニューアル事業実施。(平成30年8月～平成31年4月)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



耐震工事後の小田原城天守閣



100万人達成式典(平成29年度)



100万人突破記念バッジ



銅門特別公開(土日祝日のみ)



常盤木門SAMURAI館



「小田原開府五百年」天守閣特別展  
(平成30年10月27日～12月24日)



小田原城歴史見聞館(NINJA館)



シンポジウム「戦国都市・小田原の風景」  
(平成30年11月10日)

項目	評価対象年度	平成30年度
----	--------	--------

観光まちあるき事業(まち歩きアプリの開発等)

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○まち歩きアプリの開発  
 ・平成29年4月から観光客の回遊性や利便性の向上を図るために、観光用まち歩きアプリの配信を開発した。  
 ・以後、アプリのダウンロード数は、順調に伸びている。(これまでに、延べ18,500件を記録している。)  
**【定量的評価】**  
 ダウンロード数 平成29年度:9,477件 平成30年度:9,157件

○誘客ガイドの実施  
 ・NPO法人小田原ガイド協会やNPO法人小田原まちづくり応援団などの市民団体が中心となり、誘客ガイドや企画・予約ガイドなどのまち歩きツアーを実施している。  
**【定量的評価】**  
 城址公園内の無料ガイド 平成29年度:985件 平成30年度:740件  
 事前申し込み制の有料ガイド 平成29年度:482件 平成30年度:330件

○第6回まちあるきフォーラムin小田原の開催  
 ・誘客ガイドを行っている市民団体、小田原市観光協会が中心となり、全国のまち歩き関係者が集う「日本まちあるきフォーラム」を平成31年3月2日・3日に開催した。(2日間の合計参加人数:150人)

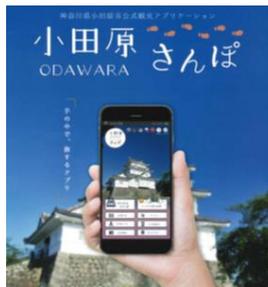
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり  
 ■計画の進捗に影響なし

本事業は、非常に天候の影響を受ける事業である。  
 今年度の夏季シーズンは、猛暑の影響もあり、低調な利用状況であった。

状況を示す写真や資料等



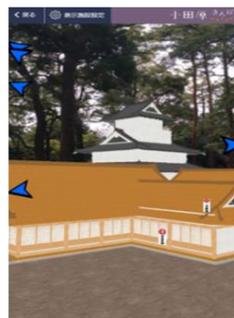
パンフレット



ロゴマーク



アプリ(トップ画面)



アプリ(3DCG)  
 ※石垣山一夜城の  
 仮想空間体験

案内板(ARポイント)  
 の設置



日本まちあるきフォーラム  
 in小田原のチラシ



日本まちあるきフォーラム  
 in小田原の当日の様子

評価軸⑥-3  
その他(効果等)

	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目  
**木づかいのまちの取組(小田原産木材の活用など)**

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・「木づかいのまち」をコンセプトに小田原産木材の利用拡大を推進している。
- ・木育事業について、東京おもちゃ美術館との「ウッドスタート宣言」に伴い、誕生祝い品を配付した。  
平成30年度 誕生祝い品の配付数:436セット
- ・わたしの木づかいパイロット事業として、市内小学校の一部で、児童の学習機の天板を地域産ヒノキに付替えた。  
平成30年度 小学校天板導入数:69名分
- ・わたしの木づかいパイロット事業として、市内小学校5校で地域産ヒノキの箸作りを行った。  
平成30年度 箸作り体験児童数:338名
- ・「学校木の空間づくりモデル事業」として、東富水小学校の内装の木質化改修を実施した。
- ・引き続き公共建築物における木材の利用促進に努めた。  
(「小田原市公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」有)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



誕生祝い品  
(「ひのきかたかた」と「かまぼこくるま」セット)



わたしの木づかいパイロット事業  
(ヒノキ天板の学習机)



わたしの木づかいパイロット事業  
(ヒノキの箸)



学校木の空間づくりモデル事業  
(東富水小学校内装木質化)

評価軸⑥-4  
その他(効果等)

		評価対象年度	平成30年度
項目			
<b>明治150年に係る取組</b>			
計画に記載している内容			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
<p>○松永記念館における近代数寄者に関する特集展示 ・明治期以降の近代茶湯を牽引した益田鈍翁、松永耳庵ら近代数寄者の書を紹介する展示を行った。</p> <p>○小田原市郷土文化館における明治小田原の別邸文化に関する特集展示及び講義 ・明治時代の小田原に花開いた別邸文化について、写真や地図などで紹介する展示を行った。 ・特集展示の関連事業として、小田原が保養地・別荘地として発展した背景や歴史について解説する講座を開催した。</p> <p>○明治の政治家別邸の整備・公開 ・明治の元勳・山縣有朋の別邸「皆春荘」(元清浦奎吾の別邸)と、山縣と交流があった貴族院議員・松本剛吉の「旧松本剛吉別邸」を、一般に公開した。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
			
<p>○近代数寄者の書—鈍翁・幻庵・耳庵・夜雨— (平成30年6月16日～7月29日) 来館者数:1,736人</p>		<p>○明治小田原の別邸文化 (平成30年11月10日～12月7日) 来館者数:3,249人</p>	
			
<p>○郷土研究講座「保養地・別荘地としての小田原」 (平成30年11月23日) 来館者数:36人</p>		<p>○明治の政治家別邸の整備・公開 左: 皆春荘 右: 旧松本剛吉別邸</p>	

評価軸⑤-5  
その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度

項目  
歴史的風致に関する意識啓発

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 歴史まちづくり研修(市職員向け)の実施
  - ・新採用職員研修プログラム「体験学習」の一つとして講義とまち歩きを実施した。まち歩き研修の案内については、特定非営利活動法人小田原まちづくり応援団により実施した。
  - ・講義とまち歩きによる取組により、新採用職員の歴史的風致に対する理解と関心を高めていき、歴史まちづくりに必要な人材の育成を図っていく。
- 歴史まちづくりカード(通称:歴まちカード)の発行
  - ・関東甲信地方において、国と連携し歴まち計画認定都市の魅力进行PRするため、歴まちカードを作成した。8月から配布を開始し、市民や観光客に対して本市の歴史的風致を広くPRしている。なお、配布場所は、小田原城天守閣・松永記念館・なりわい交流館・小田原文学館・おだわら市民交流センターUMECO(レンタサイクル受付)の5箇所となっている。
- 【定量的評価】  
平成30年度 配布枚数 3322枚(集計期間:平成30年8月23日~平成31年3月31日)
- 民間団体による小学校への歴史参考書の配布
  - ・民間プロジェクトにより市内全小学校へ「おだわら学習帳」(小学4年生)、「おだわらぬりえ」(小学1年生)を配布した。
  - ・配布対象に合わせた分かりやすい内容となっており、歴史的風致の内容も含まれ、初等教育における周知を図った。
- 都市デザイン講習会の開催(参加者:82名)
  - ・公民連携による公共施設の利活用に向けた全国的な取組をはじめ、本市に存在する歴史的建造物を利活用する意味と意義について学ぶことを目的に開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○歴史まちづくり研修



特定非営利活動法人小田原まちづくり応援団による案内  
(平成30年7月12日)  
参加者数:30人(新任及び新採用職員)



なりわい交流館前にて

○歴まちカードの発行

表面デザイン

裏面デザイン

歴史まちづくりカード

【認定概要】  
認定都市:神奈川県小田原市  
認定年月日:2011年6月8日  
重点区域の名称:小田原城下町区域及び西原(約420ha)

【写真の紹介】  
●旧三大明神大祭  
神輿渡御の情景として、「小田原祭り」という神輿の担ぎ方と「小田原獅子」といふ山車で渡御する風情が特徴です。また、神輿渡御に参る参入る山車も小田原には多くあります。現在の例大祭は、北條五代祭りには、5月3日~5日の3日間に行われています。

【歴まちスポット】  
●小田原城 ●かまぼこ通り  
●西子小路 ●小田原用水  
●西園寺 ●なりわい交流館  
●小田原文学館 ●松永記念館

【webサイト】  
http://www.ktr.mii.go.jp/city\_park/  
http://machi/city\_park\_machi0000084.htm  
歴史まちづくりカードの概要、取組内容等の詳細な情報は、歴まち計画認定都市のホームページに掲載しています。



○都市デザイン講習会の開催

小田原

平成30年度 都市デザイン講習会

公民連携による歴史的建造物の活かし方を考えよう!

公民連携の本質とは何か? 歴史的建造物を活用する方法と意義

本講習会は、公民連携による公共施設の利活用に向けた全国的な取組をはじめ、本市に存在する歴史的建造物を活用する取組について学び、第一線で取組まれている馬場正尊氏、後藤治氏を講師とし、開催いたします。

日時 平成31年1月18日(金)  
午前9時40分~午後11時20分  
(受付:午前9時30分~)

会場 神奈川県小田原市 3階 EF会議室  
(小田原駅前ビル301)

講師 馬場正尊氏 後藤治氏

申込み先 歴まち計画推進課(申込み先:1月15日(水)まで申込。メール、FAXにて申し込み下さい。)  
お問い合わせ先: 企画課 まちづくり交流課 TEL:0465-33-1754

テーマ:「公民連携による歴史的建造物の活かし方を考えよう!」  
(平成31年1月18日)  
講師:後藤治氏(工学院大学理事長)  
馬場正尊氏(株式会社オープン・エー代表取締役)

評価軸⑥-6  
その他(効果等)

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

項目  
歴史まちづくりの効果

重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上に寄与する施策を重点的かつ一体的に推進し、歴史的建造物や伝統文化などの保存・活用、歴史的景観等に配慮した市街地の環境整備などを図ることで、市民や観光客の歴史的風致への認識や愛着が深まるだけでなく、歴史的建造物や伝統文化の継承、人々の交流人口の拡大、観光振興などの多方面にわたる効果が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 入込観光客数及び各施設入館者数の増加 ※詳細は下記を参照。
  - ・史跡小田原城跡のシンボルである小田原城天守閣の入館者数は、平成28年度をピークに減少傾向であるものの、平成27年度のリニューアルオープン前と比較すると増加している。
  - ・歴史的風致形成建造物である松永記念館、清閑亭、小田原文学館の3館合計の入館者数は、清閑亭の入館者数の減少に伴い、減少している。一方、松永記念館及び小田原文学館の入館者数は、横ばいである。
  - ・市有だけでなく民有の歴史的風致形成建造物(旧内野醤油店)について、所有者の協力による定期的な一般公開により一定の来館者数を得ている。(詳細は、p.17参照)
- 県内自治体間、認定都市間での連携強化
  - ・県(邸園文化圏構想、邸園文化祭)による広域連携の実施 ・歴史的景観都市協議会への参加
  - ・関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議への参加 など
- 計画に位置付けた事業数の変化
  - ・本計画が浸透し、事業が増加し、歴史まちづくりが推進されている。
  - 平成23年度:21 平成24年度:21 平成25年度:21 平成26年度:21 平成27年度:22  
平成28年度:22 平成29年度:26 平成30年度:28
- 歴史的風致形成建造物(指定候補含む)の件数の変化
  - ・歴史的風致形成建造物(指定候補含む)として本計画に位置付けていくことで、本市内に残る歴史的建造物の保全が推進されている。
  - 平成23年度:20 平成24年度:19 平成25年度:19 平成26年度:19 平成27年度:20  
平成28年度:20 平成29年度:21 平成30年度:23
- 歴史的建造物の民間利活用に向けた取組
  - ・豊島邸については、民間事業者の利活用に向けた公募を行い、1件の提案があったので、公募要領に定める審査をしたところ、最低基準点を上回らなかったことから、「候補者なし」とした。引き続き民間利活用に向けた検討を進めていく。
- 歴史的建造物利活用エリアコーディネートプランについて
  - ・歴史的建造物利活用エリアコーディネートプランについては、3地区(箱根板橋駅・南町・かまぼこ通り周辺地区)のエリアの魅力や価値の向上を図るため、まちづくりに係る取組の方針や公民連携の体制構築などに関する基本的な考え方を整理した。また、各エリアの回遊の重要な核となる歴史的建造物については、取組を効果的に進めていくための拠点としての利活用方針や運営スキームなどの検討を進めた。引き続き、歴史的建造物の利活用に向けた検討を進めていく。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

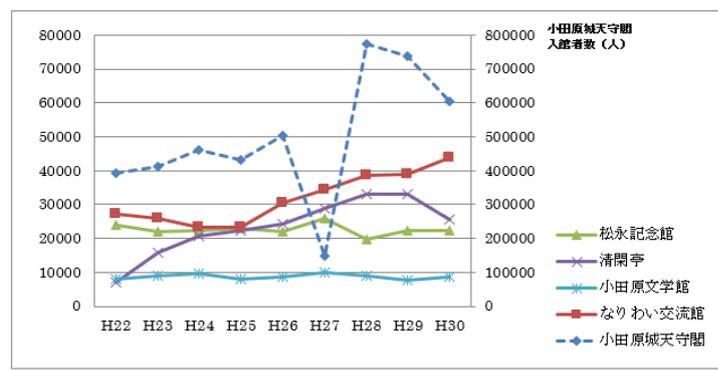
□計画の進捗に影響あり  
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○入込観光客数及び施設入館者数の増加

指標	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
入込観光客数(人)	5,040,000	4,246,000	4,370,000	4,650,000	4,514,000	4,538,000	5,943,000	6,114,772	6,182,240
小田原城天守閣入場者数(人)	393,996	411,240	459,548	430,475	502,330	148,325	775,406	738,086	603,318
松永記念館	23,829	21,901	22,388	22,905	22,098	25,918	19,878	22,461	22,342
清閑亭	6,884	15,969	20,777	22,324	24,190	29,007	33,201	33,102	25,712
小田原文学館(本館・別館)	8,046	9,121	9,578	8,068	8,501	10,012	8,834	7,823	8,565
3館合計(人)	38,759	46,991	52,743	53,297	54,777	64,937	61,913	63,386	56,639
旧内野醤油店	-	-	1,211	1,510	1,244	1,397	978	889	780
旧松本剛吉別邸	-	-	-	-	-	-	7,005	9,538	6,070
小田原宿なりわい交流館	27,189	25,807	23,266	23,473	30,626	34,339	38,701	39,001	43,756
皆春荘	-	-	-	-	-	-	-	-	2,322

※入込観光客数については、暦年(1月1日～12月31日)の集計値となる。  
 ※小田原城天守閣入館者数(人)において、耐震改修工事による休館の為、H27(平成27年4月～6月)、H28(平成28年5月～12月)の集計値となる。



小田原城天守閣入館者数と歴史的風致形成建造物3館の入館者数

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成30年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:平成31年1月29日(火)午前10時から (会場:小田原市役所 6階 601会議室)	
<p>(コメントの概要)</p> <p>①歴史的風致形成建造物に指定した建造物については、国登録有形文化財や景観重要建造物、景観重要公共施設、小田原ゆかりの優れた建造物などの位置づけを追加していくことで、本計画の成果の1つとして評価できると考えているので、検討し、進めるとよい。</p> <p>②建築基準法に適合させることが困難な歴史的建造物の活用については、「その他条例」を制定し、建築基準法の規定を適用除外とする同法第3条第1項の規定を活用するとよい。 今年6月に施行予定の改正建築基準法では、建築物の用途を変更して特殊建築物とする場合に確認申請の可否を判断する基準となる規模が、床面積の合計100平方メートル超から200平方メートル超に緩和される。これにより、多くのケースで手続きが不要になるものと思われるが、同法の規定には適合させなければならない。 しかし、特に歴史的建造物においては、同法の規定に適合させることが難しいため、用途変更に伴い必要な措置が適切にとられることを担保する意味でも、改正建築基準法の施行を機に、代替措置を求められる「その他条例」による適用除外の手続きを経由させるようにするとよい。</p> <p>③歴史まちづくりに係る事業を進める上で、地域の方の理解をはじめ、多くの市民の意見が必要であるため、関係各課が協力し、幅広い意見聴取をしながら進めるとよい。歴史まちづくり協議会は、県・市の関係部局、関係するまちづくり団体が出席している貴重な場であるので、積極的に活用するとよい。</p> <p>④小田原用水周辺には、劣化が激しく見づらい看板がある。小田原用水保全事業にあわせて、看板の更新を実施するなど、関係各課が協力し一体的に事業を展開できるとよい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>①歴史的風致形成建造物については、所有者の意向を踏まえた上で、国登録有形文化財等の位置づけの追加に向けて、関係所管と検討を進めていく。</p> <p>②歴史的建造物の活用については、建築基準法の様々な規定に適合させていく必要があるが、これら全ての規定を「その他条例」で一律に適用除外とする運用は難しいと感じており、歴史的建造物利活用エリアコーディネートプランを踏まえ、用途地域の問題だけでなく、建物用途に応じて適合させる必要のある規定の対応方法等についても、今後検討していく。</p> <p>③市民への意見聴取については、小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議などを通して関係各課と協力し、取り組んでいきたい。また、歴史まちづくりに係る問合せは、事務局であるまちづくり交通課が窓口となり、歴史まちづくり協議会で必要な情報を共有していく。</p> <p>④事業間の連携については、小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議などで情報を共有し、関係各課が協力し、一体的な事業を展開を図る。 なお、案内看板については、小田原駅お城通り再開発事業、市民ホール整備、小田原漁港交流促進施設(TOTOCO)の完成にあわせて、全面的に更新の検討を進めている。</p>	